

藤井寺市

次世代育成支援に関するニーズ調査

【結果報告書】

平成 21 年 3 月

藤井寺市

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	3
4 標本誤差	4
調査結果の要約	5
1 調査結果の要約	6
調査結果	17
1 回答者の属性	18
2 保護者の就労状況	25
3 保育サービスについて	40
4 土日の保育サービスについて	49
5 放課後児童クラブについて	51
6 病児・病後児保育について	60
7 一時的な預かりについて	64
8 宿泊を伴う一時的な預かりについて	67
9 ベビーシッターについて	71
10 ファミリーサポートセンターについて	72
11 地域の子育て支援拠点事業について	74
12 子育て支援サービスの認知度・周知度	77
13 子育て全般について	81
14 藤井寺市の事業や取り組み	88
15 子どもの健康について	89
16 子どもの食生活について	91
17 健やかに成長する為の取り組みについて	94
18 子育てを支援する生活環境の整備について	105
19 子どもの安全を確保する為の取り組みについて	108
20 仕事と生活の調和について	112
21 育児休業制度について	121
22 行政サービスへの要望について	127
資料編	129
1 自由回答	131
2 アンケート調査票	138

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 21 年度に行う「藤井寺市次世代育成支援対策行動計画」（後期計画）の策定資料として、保育ニーズや藤井寺市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、市民意向調査（アンケート調査）として実施しました。

2 調査概要

- ・ 調査地域 : 藤井寺市全域
- ・ 調査対象者 : 藤井寺市内在住の「未就学児」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）
藤井寺市内在住の小学生児童をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
- ・ 抽出方法 : 住民基本台帳より、就学前児童（0 歳～5 歳）1,200 人、小学生（6 歳～11 歳）1,200 人の合計 2,400 人を無作為抽出
但し、配布後、引越し等により不在の為返却されたものが就学前児童 12 通、小学生児童 13 通あり、配布数としては就学前児童 1,188 通、小学生児童 1,187 通となった。
- ・ 調査期間 : 平成 21 年 2 月 5 日～2 月 25 日
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収

	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	1,188	554	46.6%
小学生児童保護者	1,187	540	45.5%
合計	2,375	1,094	46.1%

3 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

4 標本誤差

今回の調査は、標本調査であるので、回答者のデータが市民の意識として十分信頼の置けるものであるかどうかをみます。

調査精度として、比率の推定の標本誤差をみますが、信頼度 95 %レベルにおいた場合、これは統計学理論から次のように与えられます。

$$E = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P \times (1 - P)}{n}}$$

E : 標本誤差

N : 母集団の大きさ

n : 標本の大きさ

P : あるカテゴリについての、母集団での回答率

この式の意味は、求める母集団におけるあるカテゴリ（注目した特性、多くの場合、調査項目と一致）の比率 P が、標本調査で得られた比率 p の前後 $\pm E$ の範囲に入っていると判断して 95 %間違いないということになります。

主要な標本における比率の標本誤差 E（信頼度 95 %レベル）

平成20年就学前児童人口	P (%)	5.0%	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
1744	n 数	95.0%	90.0%	85.0%	80.0%	75.0%	70.0%	65.0%	60.0%	55.0%	50.0%
総数	554	1.5	2.1	2.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4

平成20年小学生児童人口	P (%)	5.0%	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
2081	n 数	95.0%	90.0%	85.0%	80.0%	75.0%	70.0%	65.0%	60.0%	55.0%	50.0%
総数	540	1.5	2.1	2.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4

上記のように標本誤差 E 値（上記表各最下段）が軽微な範囲である為、十分信頼に値する数値となっています。